

# でんち

一般 電池工業会  
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011  
東京都港区芝公園三丁目5番8号  
機械振興会館内  
電話 (03) 3434-0261 (代)  
ホームページ <http://www.baj.or.jp/>  
ご意見・お問い合わせ <http://www.baj.or.jp/contact/>  
発行人 淡路谷隆久



## 平成27年・年頭のご挨拶

一般社団法人 電池工業会  
会長 依田 誠

新年あけましておめでとうございます。  
平成27年の新春を迎えるにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。  
日頃より電池業界へご理解と発展に、ご厚情を賜っております関係  
各位に対しまして心より感謝申し上げます。



初めに電池工業会を取り巻く状況についてお話し  
申し上げます。

まず市場動向です。機械統計によりますと、ここ  
数年、一次電池、二次電池ともに販売数量・販売金  
額の減少傾向が続いておりました。しかしながら、  
昨年につきましては、おおよそ前年並みに推移して  
おります。

そうした中、車載用の電池が伸びています。ま  
ず、自動車用の鉛蓄電池ですが、数量以上に金額が  
伸びております。主にアイドリングストップ車用や  
ハイブリッド車用などの付加価値の高い鉛蓄電池の  
割合が増加している影響だと考えます。さらに車載  
用リチウムイオン電池は販売数量、金額ともに大幅  
に増えており、この傾向は今後も続くと思われま  
す。

次に大型蓄電池市場です。2012年に固定価格買取制度がスタートして以降、再生可能エネルギーは、太陽光発電システムを中心に急速に進み、昨年7月末時点の設備認定量は、約70GW（ギガワット）に到達いたしました。しかし、その後、再生可能エネルギーの認定量がピーク需要を大幅に上回る規模となり、電力会社による接続保留が課題となるなど、新たな局面を迎えています。

このような状況下、大型蓄電池への期待が高まっています。これからの再生可能エネルギー導入には、蓄電池と組み合わせた需給コントロールが、有力な解決策になると考えるからです。特に電池工業会が扱う鉛やニッケル水素、リチウムイオン電池は、瞬間的な調整が可能ということで、周波数変動を吸収するデバイスとして優れたものです。さらに将来の分散型エネルギー社会のあるべき姿である、エネルギーの地産地消を実現するためにも、蓄電池は大きな役割を果たすことが期待されています。

また、2016年の電力完全自由化を見据えて、ここでも蓄電池が貢献するものとして、すでに検討が始められています。

電池工業会では新たに「大型カスタムワーキンググループ」をつくり、大型の蓄電システムの普及促進活動を強化するための検討を開始しております。まずは先ほどの系統連携の安定化の課題と電力自由化に対し、蓄電池が果たすべき役割を社会に示し、その普及を促進してまいります。そのためにも、関係省庁の皆様にはぜひ、大型カスタム品に関する補助金制度の充実をお願いしたいと思います。

続いてIECに関する事案です。昨年11月、IEC総会が15年ぶりに日本（東京）で開催され、電池をはじめ様々な分野で審議が行われました。特にリチウムイオン電池では、従来の小型電池に加え、定置用、

系統連系用、自動車用、船舶用等々、さまざまな規格化が進行しています。電池工業会は、経済産業省のご指導の下、リチウムイオン電池発祥の国として、その規格化のメインプレーヤーとして活発な活動を展開しています。

少し話題を変えまして、昨今の経済状況についてお話し致したいと思います。2014年を振り返ると上半期は多くの会社が前年に比べ増収増益の好決算のところ、通期の見通しは据え置く企業がほとんどでした。また好決算・好業績にも関わらず全体的な高揚感が感じられない年でした。これはなぜかと考えたのですが、好業績が円安や資源価格の下落といういわば他律要因の結果によるもので、実態は数字が示すほど良い内容ではないと考える経営者が多いからではないかと思えます。安倍政権による金融政策や財政政策に下支えされた好業績ということではないかと思えます。2015年は、この下支えが有効なうちに真の成長戦略を進めて、本当の成長を実現する年にしなければならないという風に思えます。中国には上に政策があれば下に対策がありという言葉がございます。これをもじりまして、日本では、上に政策があれば下に実行ありとしたいと思えます。幸い蓄電池業界は今後の拡大が期待される市場です。率先して成長戦略の実行に我々が取り組んで行かねばならないというように思えます。

電池工業会では、この全体的な市場環境のもとで社会的期待に応えられるように、これからも会員各社一丸となって全力で取り組んで参る所存です。今後とも関係各省庁ならびに関係各位のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

結びに、会員会社様の益々のご発展と、皆様方のご多幸をお祈りし、年頭の挨拶とさせていただきます。



# 富田局長年頭所感

平成27年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

日本経済は、長く続いたデフレ経済からの脱却に向けて着実に前進しています。景気は緩やかな回復基調にあり、賃上げ率は過去15年で最高水準を記録するなど、経済の好循環が生まれ始めております。この好循環を拡大するためにも、アベノミクス第3の矢「成長戦略」を推進していく必要があります。我が国の立地競争力を高め、世界のヒト、モノ、カネを日本に惹きつけるため、成長志向の法人税改革、エネルギーコスト対策、TPP等の経済連携交渉を推進することで、我が国の新たな成長基盤を構築してまいります。

さらに、成長の実感を全国津々浦々に行き渡らせるために、経済産業省として地方に「しごと」を創り出す観点を中心に取組を進めます。ITを活用した、地域の雇用の6～7割を支えるサービス産業の生産性向上や、「食」や「伝統工芸」、「観光」などの魅力的な地域資源の磨き上げと海外への売り込みなどを通じ、地方の産業の活力を高めてまいります。

近年、電池業界は激しい国際競争に晒されていますが、電池はEV・HEV等の次世代自動車やエネルギー産業のキーデバイスであるとともに、今後着実な市場の拡大が見込まれる成長分野であると認識しております。このような成長分野である我が国電池産業が国際競争を勝ち抜き、グローバル市場を積極的に獲得していくため、政府としても、エネルギー政策及び産業政策が一体となり、新たなマーケットの創造や競争力強化に向けた基盤整備に取り組んでまいります。

昨年末には、経済対策がとりまとめられました。経済産業省としては、中小企業の資金繰り対策、ものづくり・サービス補助金や最新型の省エネ機器の

導入支援等を盛り込んでおります。

さらに、エネルギーコスト対策として、電力需要のピークコントロールに資する定置用リチウムイオン蓄電池の導入支援を措置し、蓄電池の普及拡大を後押ししてまいります。

また、国際標準の分野においては、各国間の主導権争いが激化している中で、我が国主導での蓄電システムの標準化に向けて、貴工業会に奔走していただいております。経済産業省としても、我が国の国際競争力強化のためにも、引き続き、今後の成長分野である蓄電池における日本発の国際規格の策定に向けた貴工業会の取組を支援してまいります。

蓄電池のような成長分野を戦略的な産業へと育て上げるためには、総合的な戦略を描きつつ、官民一体となって取り組んでいくことが不可欠です。本年も、関係者の皆様と連携を取りながら、電池業界の発展、日本経済再生に向けた取組を加速してまいりますので、皆様のご協力の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、日本経済再生のためには「成長戦略」を成功させることが必要不可欠でございます。そのため、今後も皆様の創意工夫あふれた新しい挑戦を、政府として引き続き支援してまいりたいと決意を強くしているところです。

皆様におかれましても、本年を日本経済再生に向けた飛躍の年としていただきますよう、お願ひ申し上げます。

平成27年1月  
経済産業省商務情報政策局長 富田 健介



# 「2014 プロ野球最優秀バッテリー賞」表彰式

今年で24回目を迎えた「2014 プロ野球最優秀バッテリー賞」（主催：スポーツニッポン新聞社、協力：一般社団法人電池工業会）の表彰式が、平成26年12月8日（月）、東京都文京区の東京ドームホテルで開催された。

今年で24回目を迎える本賞は、投手だけでなく、日頃は縁の下の力持ち的な存在の捕手にもスポットライトを当て、最強の「バッテリー」を表彰するもの。投手はローテーションの軸として、あるいは抑え投手としてシーズンを通して活躍したことを最低条件とする。また、捕手はインサイド・ワーク、盗塁阻止率の高さ、捕逸の少なさなどが条件となる。

今回の最優秀バッテリー賞は、セ・リーグからは読売ジャイアンツの菅野智之投手と阿部慎之助捕手、パ・リーグからはオリックス・バファローズの金子千尋投手と伊藤光捕手の両バッテリーが受賞し

た。阿部捕手は、歴代最多タイの6度目の受賞となったが、他の3選手は、今回が初めての受賞だった。

「バッテリー」つながりで本賞の開催に協力している電池工業会からは、淡路谷専務理事がプレゼンターとして出席し、各受賞選手にカーバッテリー1個の引換証と乾電池300本を贈呈した。なお、受賞選手4名のうち、読売ジャイアンツの菅野投手は、米国でリハビリ中の為、表彰式には参加されず、ビデオメッセージでの出席となった。

表彰式の模様は、当日の夕方、翌朝のニュースや翌日付けの各新聞などでも報道された。



写真提供：スポーツニッポン新聞社

## エコカー、通常車両方の鉛バッテリーに対応 高性能小型充電器「Circuito<sup>※</sup>」を新発売！

株式会社GSユアサ

株式会社GSユアサ（社長：依田 誠、本社：京都市南区）は、アイドリングストップ車（以下、IS車）用鉛バッテリー、ハイブリッド車（以下、HV車）補機用鉛バッテリーをはじめとした自動車用12V鉛バッテリーおよびバイク用に対応した充電器「Circuito（シルクィート、型式MBC-6H）」を12月15日に発売開始いたしました。

今回当社が発売した充電器「Circuito」は、通常車用はもちろん、IS車用やHV車用の鉛バッテリーをそれぞれの特性に応じた最適な条件のもと補充電を行うことができます。

車両の高機能化によってバッテリーの重要性は今後さらに高まりますが、バッテリートラブルの多くは早期点検や補充電などの定期的なメンテナンスによりなくすことができます。また、特性に応じた補充電を行うことでバッテリーの性能を良好に保ち、車両の機能をより十分に発揮することができます。

GSユアサがバッテリー専門メーカーとして長年の実績と経験に基づいて開発した「Circuito」は、初めての方でも安全・簡単・便利な機能に加えて、バツ



高性能小型充電器「Circuito（型式MBC-6H）」

テリーの特性を十分に考慮した設計で今後さらに増加が見込まれるエコカー用バッテリーのサポートに役立つものと考えています。

GSユアサはこれからも皆様の安心・安全を最優先に、お客様のニーズにお応えできる製品開発に取り組んでまいります。

※Circuito（シルクィート）

Circuitoとはイタリア語でサーキット（電気回路）、サークル（丸いもの）の意味です。まったく新しい形が生み出す高性能な充電器のイメージにあわせてネーミングしました。

### 【Circuitoの特長】

- ・軽量でオリジナリティあふれたデザイン
- ・従来の通常車用をはじめ、IS車用鉛バッテリー、HV車補機用鉛バッテリーなど、ほとんどの12V鉛バッテリーに使用可能
- ・IC制御によるオートタイマー機能  
充電終期になると、自動で充電を終了し過充電を防止
- ・安心の保護機能……過電流充電や逆接続によるトラブルを未然に防止
- ・再充電機能……長期放置しても、自動で電圧降下を感知して、再び充電をスタートする機能付き（バイク用バッテリーのみ）
- ・ブースト機能……小型でありながらエンジンスタート補助機能を搭載（自動車用バッテリーのみ）

【発売日】 2014年12月15日

【販売目標】 1万台／年間

【メーカー希望小売価格】 21,000円（税抜）

【仕様】

型式	MBC-6H	
出力電圧	DC12V	
出力電流	自動車モード	6A
	バイクモード	2A
ブースト電流	最大20A	
外形寸法(mm)	φ256×H 91	
パッキングケース寸法(mm)	H 98×W 260×D 265	
質量	約1.3Kg	
充電状態表示	LED表示	

【この件に関するお客様からのお問い合わせ先】

株式会社 GSユアサ 産業電池電源事業部 特機本部 営業部  
TEL 03-5402-5839

【この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社 GSユアサ 広報・IR室  
TEL 075-312-1214

# 平成26年 12月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	11日(木)	広報総合委員会	でんちフェスタの反省、来期の事業計画の検討、他。
	15日(月)	191回 講習実施委員会	高知県、神奈川県にて開催した蓄電池設備整備資格者講習の修了考査につき、可否を判定。
	17日(水)	統計総合委員会	第一回会合。
	17日(水)	国際環境規制総合委員会	地域別規制動向アップデート、海外出張計画、他。
	18日(木)	新種電池研究会	電力中央研究所 赤城試験センター見学。
二次電池部会	8日(月)	自動車鉛分科会	S0102改正審議、IEC新規提案規格の審議。
	9日(火)	PL委員会	爆発事故集計の審議。
	12日(火)	電気車鉛分科会	S0804、G0806の審議、他。
	12日(火)	据置鉛分科会	消防庁依頼実験に関する審議。
	15日(月)	据置アルカリ分科会	IEC60623、鉄動車両用電池規格、Ni-MH規格に関する審議。
	16日(火)	SDS検討ワーキンググループ	SDS作成に関しコンサルタント会社の選定、他。
	17日(水)	据置鉛分科会	G0302に関する審議、他。
	18日(木)	産業用電池リサイクル委員会	広域認定変更申請、BAJホームページ改訂の審議、他。
	20日(土)	用語分科会	S0401、S0402、型・形に関する等の審議。
	20日(土)	小形鉛分科会	IEC62485-4の審議。
	22日(月)	自動車鉛分科会	ブラジルINMETRO法規対応の審議。
	24日(水)	産業用電池技術サービス分科会	小形制御弁式鉛蓄電池の安全に関するリーフレット検討、他。
二次電池第2部会	5日(金)	国際電池輸送委員会	輸送に関する手引書の改定審議。
	9日(火)	車載LIBワーキンググループ	非駆動用車載LIBの規格化についての審議。
	10日(水)	普及促進委員会	産業用・定置用蓄電システムの普及促進検討。
	12日(金)	再資源化委員会	小形充電式電池の識別表示ガイドラインに関する審議。
	12日(金)	大形カスタムワーキンググループ	大形蓄電システムの普及促進検討。
	15日(月)	据置LIB分科会	IEC原案審議。
	18日(木)	国際電池輸送委員会	国連危険物輸送専門家小委員会への対応審議。
	19日(金)	リチウム二次分科会	IEC62133及びJIS C 8712関連審議。
22日(月)	車載LIBワーキンググループ	非駆動用車載LIBの規格化についての審議。	
一次電池部会	1日(月)	リチウム小委員会	IEC 60086シリーズの検討。リチウム金属電池輸送規制関係、他。
	2日(火)	技術委員会	各小委員会及びWGの活動報告。
	2日(火)	PL委員会	電池の安全使用のための表示ガイドライン改正の検討、他。
	3日(水)	規格小委員会	IEC 60086シリーズの検討、JIS C 8500改正審議、他。
	3日(水)	業務委員会	救援物資供給対応スキーム検討、他。
	5日(金)	器具委員会	防犯ブザーSBA規格改正の検討、他。
	12日(金)	一次電池部会	各専門委員会の活動報告。
16日(火)	環境対応委員会	UNEP水銀条約を受けた国内法の検討。	

# 10月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2014年10月）

単位：数量—千個、金額—百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	377,513	73,080	102%	111%	3,443,730	658,482	102%	110%
一次電池計	233,452	8,427	98%	100%	2,178,681	74,050	101%	103%
酸化銀電池	71,201	1,269	105%	106%	674,566	11,651	106%	104%
アルカリ乾電池計	84,875	3,985	91%	91%	776,631	34,128	98%	101%
単 三	44,105	1,745	87%	88%	424,090	15,761	98%	98%
単 四	26,182	1,072	98%	100%	233,344	9,041	97%	101%
その他	14,588	1,168	90%	88%	119,197	9,326	102%	105%
リチウム電池	77,376	3,173	100%	112%	727,484	28,271	101%	105%
二次電池計	144,061	64,653	109%	113%	1,265,049	584,432	102%	111%
鉛電池計	2,651	14,166	99%	102%	25,974	136,664	101%	106%
自動車用	1,907	8,680	96%	102%	19,206	84,122	101%	109%
その他の鉛蓄電池	744	5,486	106%	103%	6,768	52,542	101%	102%
アルカリ蓄電池計	48,510	16,464	101%	96%	447,424	154,248	87%	92%
ニッケル水素	40,598	15,011	107%	96%	361,468	139,959	95%	93%
その他のアルカリ蓄電池	7,912	1,453	79%	94%	85,956	14,289	66%	82%
リチウムイオン蓄電池計	92,900	34,023	114%	129%	791,651	293,520	113%	128%
車載用	52,193	23,222	217%	179%	300,639	167,175	200%	172%
その他	40,707	10,801	71%	80%	491,012	126,345	89%	96%

# 10月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2014年10月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	198,834	43,717	111%	117%	1,778,716	350,740	105%	106%
一次電池計	90,014	2,525	110%	117%	853,385	21,974	108%	112%
マンガン	0	1	0%	7%	28	39	2%	39%
アルカリ	2,406	64	73%	93%	34,463	783	83%	118%
酸化銀	43,066	578	102%	95%	433,966	5,703	109%	98%
リチウム	44,205	1,729	121%	128%	383,054	14,571	110%	118%
空気亜鉛	281	3	216%	251%	1,399	16	133%	136%
その他の一次	56	150	582%	125%	475	862	71%	115%
二次電池計	108,820	41,192	111%	117%	925,331	328,766	102%	105%
鉛蓄電池	170	1,066	112%	104%	1,416	8,590	86%	97%
ニカド	4,745	431	69%	72%	56,102	4,809	55%	55%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	2	671%	52%
ニッケル水素	11,374	5,744	100%	92%	107,743	50,109	85%	91%
リチウムイオン	88,598	23,414	120%	128%	722,118	177,514	114%	106%
その他の二次	3,933	10,536	71%	117%	37,951	87,742	85%	123%
全電池合計（輸 入）	129,486	11,109	81%	87%	1,194,336	107,829	99%	98%
一次電池計	120,611	2,036	81%	91%	1,113,834	19,164	99%	109%
マンガン	15,771	217	80%	96%	128,385	1,591	93%	110%
アルカリ	87,259	1,187	77%	81%	821,166	10,759	102%	109%
酸化銀	445	11	100%	108%	3,127	87	48%	63%
リチウム	14,273	563	101%	125%	115,190	5,192	88%	106%
空気亜鉛	2,757	46	111%	120%	44,347	763	114%	129%
その他の一次	107	12	141%	22%	1,620	773	169%	122%
二次電池計	8,875	9,073	87%	86%	80,501	88,665	95%	96%
鉛蓄電池	718	2,852	110%	111%	6,726	25,984	107%	110%
ニカド	203	180	133%	94%	1,407	1,706	95%	87%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	1	2%	8%
ニッケル水素	1,901	570	94%	127%	17,805	5,023	100%	110%
リチウムイオン	4,187	4,548	75%	69%	36,012	46,898	82%	89%
その他の二次	1,866	924	107%	117%	18,552	9,052	125%	92%

# 10月度地域別財務省貿易統計

(2014年10月)

単位：百万円

## 一次電池

輸 出	合 計	アルカリ	マンガン	酸化銀	リチウム	その他
東南アジア	1,307	32	0	527	727	22
欧 州	496	17	1	12	459	7
北 米	676	11	0	39	501	125
そ の 他	46	3	0	0	43	0
合 計	2,525	64	1	578	1,729	153
輸 入						
東南アジア	1,860	1,178	216	6	455	5
欧 州	58	1	0	5	3	49
北 米	113	9	0	0	100	4
そ の 他	5	0	0	0	5	0
合 計	2,036	1,187	217	11	563	58

## 二次電池

輸 出	合 計	鉛蓄電池	ニカド	ニッケル水素	リチウムイオン	その他
東南アジア	15,911	473	147	695	8,034	6,562
欧 州	7,381	187	38	2,119	3,318	1,719
北 米	15,753	241	11	2,774	11,283	1,444
中 米	376	39	232	0	87	17
そ の 他	1,771	127	3	155	692	793
合 計	41,192	1,066	431	5,744	23,414	10,536
輸 入						
東南アジア	7,806	2,315	77	541	4,232	641
欧 州	542	308	49	9	113	63
北 米	703	219	54	20	194	216
中 米	14	10	0	0	3	1
そ の 他	8	0	0	0	6	2
合 計	9,073	2,852	180	570	4,548	924